

平成 28 年度第 1 回広島市景観審議会 会議要旨

- 1 開催日時 平成 28 年（2016 年）12 月 1 日（木）10 時 00 分～11 時 55 分
- 2 開催場所 広島市役所 本庁舎 14 階 第 7 会議室
- 3 出席者
 - (1) 出席委員（11 名）
杉本 俊多、森保 洋之、三浦 浩之、吉田 幸弘、正本 大、折橋 洋介、
高田 由美、内田 賢司、坂本 廣明、中川 圭子、中城 秀典
 - (2) 欠席委員（3 名）
藤井 堅、児玉 紀子、伏見 清香
- 4 議題
 - (1) 会長及び副会長の選任について
 - (2) 広島市景観計画に掲げる推進方策の進捗状況について
- 5 公開・非公開の別 公開
- 6 傍聴者 一般傍聴者 1 名
傍聴者（マスコミ関係） 1 名
- 7 会議資料
 - 資料 1－1 広島市景観計画の概要について
 - 資料 1－2 広島市景観計画に掲げる推進方策の進捗状況
 - 資料 1－3 広島市景観計画に掲げる推進施策の実施状況
 - 資料 2－1 被爆 70 周年記念事業「Viewtiful!ひろしま(広島らしい眺望景観)」の選定について
 - 資料 2－2 被爆 70 周年記念事業「Viewtiful!ひろしま(広島らしい眺望景観)」投票結果
 - 資料 2－3 被爆 70 周年記念事業「Viewtiful!ひろしま(広島らしい眺望景観)」選定案
 - 資料 2－4 候補写真(選定案)

8 発言の要旨

【委員紹介】

【審議会成立の報告】

【会長及び副会長の選任について】

会長に杉本委員、副会長に森保委員を選任した。

【広島市景観計画に掲げる推進方策の進捗状況について】

杉本会長

広島市景観計画に掲げる推進方策の進捗状況について、事務局から説明をお願いします。

事務局（都市デザイン担当課長）

（広島市景観計画に掲げる推進方策の進捗状況について説明）

杉本会長

ただいまの説明について御意見、御質問等があればお願いしたい。

中川委員

平和記念公園内のトイレの改修について、現時点では1棟のみ完成していると聞いているが、このトイレの工事の進捗状況とこれからの工程、また、当初計画のとおり行われているのか、教えてもらいたい。

事務局（都市デザイン担当課長）

当初の計画どおりに行っている。計画にあるすべてのトイレを一挙に完成させることは困難であり、また公園内には史跡もあるので文化庁と協議しながら進めている。この事業は公園整備課の担当であるため、確認して後日進捗状況等をお知らせしたい。

三浦委員

資料1-3の5ページの⑨その他の眺望景観の保全に関する検討で「早急に検討していきます」という記述があるが、どの程度の期間で行うことを想定しているのか。

事務局（都市デザイン担当課長）

景観計画の策定に当たり、当初は、平和記念公園周辺の高さ制限を盛り込んだ案を作り、この景観審議会においても審議していただいたが、平和記念公園周辺に高さ制限を設けることについて、市民から多様な意見が出たため、この高さ制限を除いた形で景観計画を策定した。この高さ制限については、やり残した課題と認識している中で、オバマ米大統領が来広され、原爆ドームや慰霊碑を背景に安倍首相と握手をされている映像が報道され、新聞等で背景（の建物）についての言及もあった。資料1-3で早急に検討していきますと書いているのは、懸案事項について検討を加速化させていくことと御理解いただきたい。

杉本会長

原爆ドーム周辺の眺望景観については、具体的な条件を設定して、方向性をビジュアルで感じられるようなシミュレーション画像を作成し、市民に提示して広く関心をもってもらい、その議論の中心に南北軸があるという方向性を打ち出していくことが必要である。そのために、SNSなどの新たな媒体の活用も検討してもらいたい。

森保副会長

景観計画を市民に理解していただき、その上で市民とともに育てていくことが重要である。景観の定義にあるように、（景観づくりには）人、物、事、仕組みのすべてが関係してくるので、この構造を市民に知っていただき、理解してもらおうプログラムを考えてほしい。

中城委員

それぞれの施策をPDCA（Plan、Do、Check、Action）の観点で評価し、before・afterがビジュアルでわかるようにしてほしい。例えば、事業者との協議を通じて、デザインが協議する前と協議した後でどう変化したのか、画像等を使用しビジュアルでわかるよう公表してはどうか。また、施策の中で効果が不十分であるものについては、PDCAの観点で再検討するということも必要だと思う。

広島市内には全国チェーンの店舗が多数出店しており、事業者にはこれらの店舗のCI（Corporate Identity）カラーの変更も考えてもらうよう協議し、広島らしい景観をつくってもらえるようにしてもらいたい。

夜間景観で、ライトアップについては光害の問題も考慮してほしい。

事務局（都市デザイン担当課長）

PDCAについては、それぞれの施策でどのような結果が出ているかを評価し、効果が十分でなければ再検討し改善していけるようにしたい。

CIカラーについては、京都ではコンビニ等でも配慮したCIカラーに変更されており、広島で

も平和記念公園周辺では、コンビニ、コインパーキング等である程度配慮していただいた事例もある。こうしたことについてPRが十分ではない面もあるため、市民に周知していく必要があると考えている。

光害に関しては、広島河岸緑地は、昼間は高い評価を頂いているが、夜間は暗すぎるのではないかという声もある。今年度、御指摘の点も踏まえて実態調査を行いたい。

森保副会長

私と中城委員が話をしたことが言わばベースとなり、それらを豊かにしていくと杉本会長が話をされたビジュアルの活用に発展していく。これらは相互に関係し、支え合うという構造にあると理解した。

杉本会長

景観重要建造物や景観資源の保全・活用に向けた調査検討については、具体的な案を出していただいたものを景観としてどう評価していくのかという問題もある。これについては様々な手法があり、具体的にチェックしていく必要があるため、委員の皆様にもアイデアを頂きたい。

私個人の意見として、従来型の手法に加えて、今の時代の人たちがSNS等にあふれている画像についてどう感じ、どのように心理的な反応をしており、それを景観コントロールにどう生かしていけるのかを考えてみる必要があると感じている。ステレオタイプではなく、広島独自の手法で広島らしさを出していければと考えている。広島と全国の住民の感じ方には差があり、広島は静かさとにぎわいの調整をしなければならない側面もあるので、その点を勉強し、広島らしい視点があれば、それを具体的な施策に盛り込み、広島らしい景観を評価する新しい手法を考えていけると良い。

中川委員

広島市では文化、芸術、環境、都市計画などの様々な分野で新しい広島を提案し、それぞれの部署で施策を行っているが、景観の面でもビジュアルを含めて、見て、触って、聞いてといった五感で感じる景観というものを発信してほしい。

正本委員

市民意識の醸成について、行政側の一方通行ではなく、市民からの意見の吸い上げをどうしていくのが課題だと思う。与えられたものの中で市民に選択してもらうのではなく、御意見を頂きながら、相互理解を深めていく場をつくる必要があると思う。

景観と視点場については、景観計画重点地区内で最重要地点を決め、そこを中心に景観をつくっていくことが重要であり、重点的な動線を設定しておく必要があると思う。例えば、平和大通りの緑はとても素晴らしいが、側道に入れば無粋な管理をされているといったことも見受けられ、景観上の動線をトータルでコーディネートしていく必要があると思う。

【被爆70周年記念事業「Viewtiful!ひろしま（広島らしい眺望景観）」の選定について】

杉本会長

被爆70周年記念事業「Viewtiful!ひろしま（広島らしい眺望景観）」の選定について、事務局から説明をお願いします。

事務局（都市デザイン担当課長）

（被爆70周年記念事業「Viewtiful!ひろしま（広島らしい眺望景観）」の選定について説明）

杉本会長

ただいまの説明について御意見等があればお願いしたい。

森保副会長

選定に当たり「被爆70周年」という部分を重視するのか、それとも「広島らしさ」という部分を重視するのかによって選ぶものが大分違ってくると思う。どちらを重視するというものではなく、「被爆70周年という節目の時期に広島らしい景観を選ぶ」という理解で良いのではないか。市民投票での反応を見てもそのような理解で符合していると思う。

選定案の中に「近景・中景・遠景」という切り口での選択が少ないように思う。できれば、選定する中にそのような切り口の眺望景観がそれぞれ1、2枚でも入ると良いと思う。例えば、34位の「NTT基町クレドから見た広島城」などは遠景に当たると思う。先ほど事務局が言ったように、今回は初版であってこれから練っていくということであれば、次回からは留意していただきたい。

また、景観計画では、市域を景観計画重点地区の13と一般区域の計14の地区に区分しており、できるだけそれぞれのエリアから一つは選んだ方が良くと思う。ざっと見る限りは概ね入っており良いのではないか。選定案については概ね賛同する。

事務局（都市デザイン担当課長）

同じく被爆70周年記念事業として作成する写真集については、10年毎の都市の有り様を切り取った形になっており、写真の出来栄が重要視される。今回選定する眺望景観は、写真の良し悪しではなく、ここから見たこの眺めが良い、という場所を選んだものである。また、被爆70周年記念の写真集の作成を契機として、継続性のあるものにしていきたいと思っている。

「近景・中景・遠景」については、候補100件を選ぶ際に眺望景観の定義がしっかり出来ていれば良かったが、最初でありそこまで詰められていなかった。今回選定案に広島城も含まれていることから遠景を増やす工夫はできると思う。

今回、平和、歴史・文化、水と緑、にぎわい・おもてなしの4つの地区特性に沿って募集したが、景観計画重点地区・一般区域のそれぞれが概ね入っていると思う。次回の選定の際には、地区・区域区分の観点も踏まえ募集したいと思う。

三浦委員

市民投票の上位30位までに安佐南区が含まれていないということで武田山を含めた選定案を検討されているが、この場所が選ばれてどう景観施策に反映していけるのか若干不安ではある。

この選定結果が公表された際、安佐南区で選ばれたものが少ないということを考えてもらう契機になればと思う。

事務局（都市デザイン担当課長）

西風新都地区は力を入れているところではあるが、まだ地区の全体像が出来上がっていないことから、ふるさとに対する愛着がまだ十分に定着していないという面があるのかもしれない。

森保副会長

選定のやり方は難しいと思うが、今回は候補を100件選んだ上で市民投票を行うというシステムで、上手く運用していると思う。自分たちの区の状況が分かるため、それぞれの区でも同様にやってみるといいと思う。それが今後の発展につながるのではないかな。

杉本会長

皆さんの御意見を参考に、事務局で選定作業を進めていただきたい。

本日予定していた議事は以上であるが、事務局から何かあれば、お願いしたい。

事務局（都市デザイン担当課長）

本日、審議会の会長と副会長を委員の互選により選任していただいたが、景観審議会の専門

部会に、車体AD専門部会があり、これに属する委員については、景観審議会規則第7条第2項の規定により会長が指名することとなっているので、後日、臨時委員の選任を含めて、会長の指名により選任させていただく。

また、「Viewtiful!ひろしま(広島らしい眺望景観)」の選定については、委員から頂いた御意見を踏まえ、来年1月を目処に選定したいと考えている。

以上で本日の議事を終了する。